

2023年5月18日 全8頁

Indicators Update

2023年4月貿易統計

自動車輸出の増加を主因に貿易赤字の縮小が継続

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

[要約]

- 2023年4月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+2.6%（季節調整値では前月比+2.5%）と、自動車輸出の回復を主因に好調な結果となった。他方、輸入金額は前年比▲2.3%（季節調整値では前月比+0.1%）と27カ月ぶりの減少に転じた。これを受け、貿易収支は▲4,324億円、季節調整値では▲1兆172億円となった。季節調整値で見た輸入金額は下げ止まっているが、自動車を中心とした輸出金額の上振れで貿易赤字は縮小しつつある。
- 4月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比+2.1%と2カ月ぶりに増加した。引き続き自動車の持ち直しが進んだほか、工場稼働率が回復した米国向けでは中間財が押し上げ要因となった。地域別に見ると、米国向け（同+4.1%）やEU向け（同+8.4%）が増加に転じた。他方、アジア向け（同▲0.9%）は2カ月連続で減少した。中国向け（同+3.3%）は鈍いながらも回復しているが、その他の地域向けが低調だったとみられる。
- 先行きの輸出数量は横ばいから緩やかな増加基調に転じるとみている。中国で自動車需要に回復の兆しが見られるほか、米国では景気が減速する中でも個人消費が底堅い。また夏以降は自動車の挽回生産、冬以降は米欧での景気回復によって輸出が上振れするとみている。ただし、7月に控える半導体製造装置の輸出規制によって中国向け輸出が下振れするリスクには注意が必要だ。

【貿易金額】資源価格の下落などから輸入金額は27カ月ぶりの前年割れに

2023年4月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+2.6%と26カ月連続で増加した（**図表1**）。輸出金額全体を季節調整値でみると、前月比+2.5%と2カ月ぶりに増加した（**図表2左**）。背景にあるのは自動車輸出の回復を主因とした輸出数量（大和総研による季節調整値、以下同）の上振れであり、好調な結果であったと評価できよう。

輸入金額は前年比▲2.3%と27カ月ぶりに減少に転じた。品目別では、経済正常化の過程で輸入金額を押し上げてきた原油及び粗油や液化天然ガスなどがそれぞれ同▲25%程度減少した。税関長公示レートが同7.6%の円安となったことで輸入金額の増加に寄与したが、資源価格の下落などがこれを上回ったことでヘッドラインが減少したとみられる。輸入金額全体の季節調整値は前月比+0.1%と6カ月ぶりに増加した。輸入数量（大和総研による季節調整値、以下同）が小幅に増加した一方、輸入価格は下落傾向が継続している（**図表2右**）。

これを受け、貿易収支は▲4,324億円と21カ月連続の赤字となった。季節調整値では▲1兆172億円と高水準の赤字が続いているが、赤字幅は縮小しつつある（**図表3**）。2023年1月までは輸入の減少によって赤字幅が縮小していたが、輸入金額は足元で下げ止まっており、むしろ輸出の持ち直しが赤字幅の縮小に寄与している。

図表1：貿易統計の概況

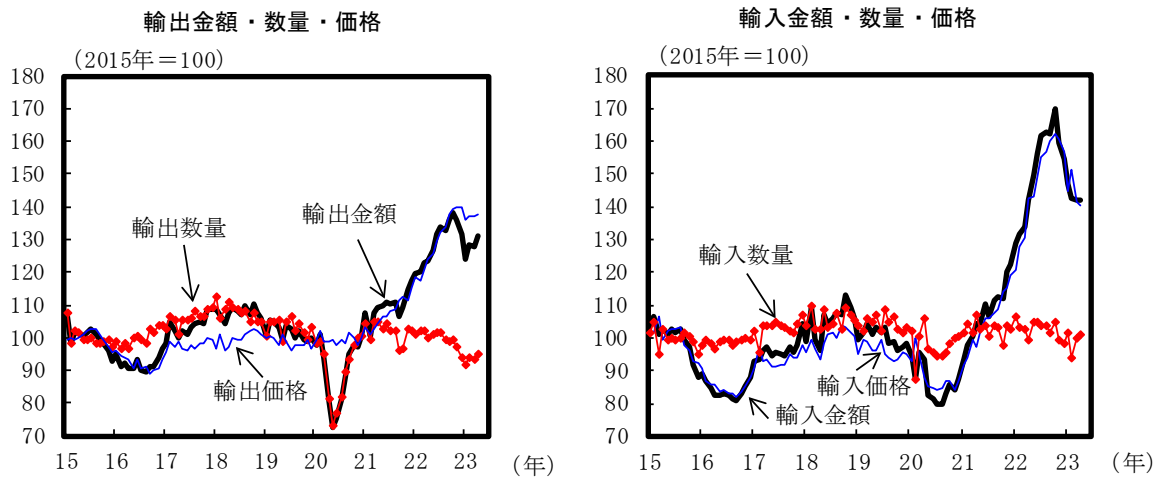
		2022年					2023年				
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
原系列 前年比 %	輸出金額	22.0	28.9	25.3	20.0	11.5	3.5	6.5	4.3	2.6	
	コンセンサス									3.0	
	DIRエコノミスト予想									4.1	
	輸入金額	49.3	45.8	53.6	30.3	20.8	17.6	8.5	7.3	▲2.3	
	輸出数量	▲1.1	3.8	▲0.3	▲3.6	▲7.0	▲10.9	▲7.8	▲8.1	▲6.2	
	価格	23.4	24.2	25.7	24.4	19.9	16.1	15.5	13.6	9.4	
季節 調整値 前月比 %	輸入数量	2.8	▲1.6	5.7	▲4.7	▲6.4	▲2.3	▲7.9	▲2.6	▲0.4	
	価格	45.3	48.2	45.4	36.7	29.0	20.4	17.8	10.2	▲1.9	
	貿易収支(億円)	▲27,904	▲20,992	▲21,715	▲20,319	▲14,586	▲35,064	▲9,199	▲7,551	▲4,324	
	輸出金額	▲0.9	2.8	1.3	▲1.3	▲3.5	▲5.6	3.6	▲0.7	2.5	
	数量	▲2.2	▲0.1	0.1	▲1.8	▲3.5	▲2.7	2.6	▲0.7	2.1	
	価格	1.3	2.9	1.2	0.6	0.0	▲3.0	1.0	0.0	0.4	
季節 調整値 前月比 %	輸入金額	0.8	▲0.4	4.7	▲5.9	▲3.3	▲4.7	▲3.0	▲0.7	0.1	
	数量	▲0.3	▲2.2	3.2	▲5.2	▲0.8	3.2	▲7.4	6.3	0.9	
	価格	1.1	1.9	1.5	▲0.8	▲2.5	▲7.7	4.7	▲6.5	▲0.8	
	貿易収支(億円)	▲22,785	▲20,049	▲23,879	▲18,401	▲17,943	▲17,870	▲12,148	▲12,135	▲10,172	
	税関長公示レート	135.08	139.81	145.09	146.43	137.90	132.08	130.38	134.97	132.23	

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

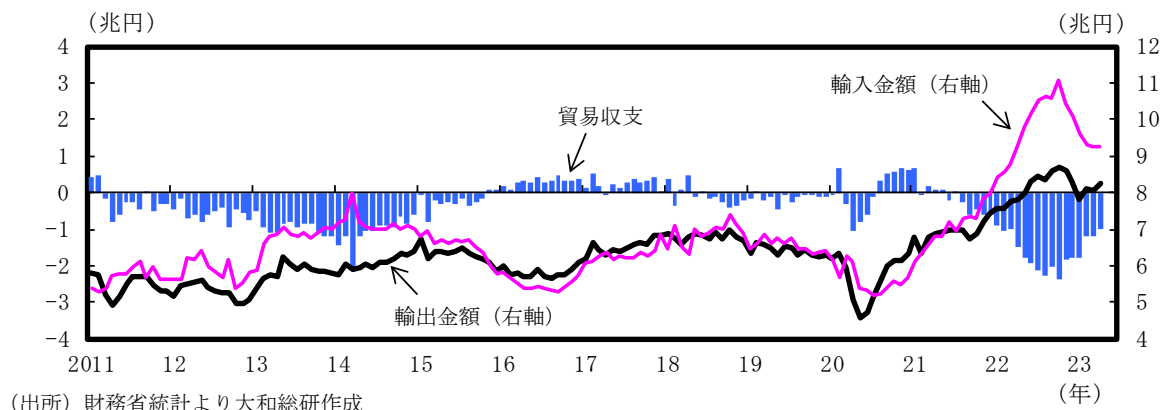
(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2：輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格（季節調整値）



図表 3：輸出、輸入、貿易収支（季節調整値）



【輸出数量】自動車輸出の持ち直しと米国の工場稼働率回復で増加に転じる

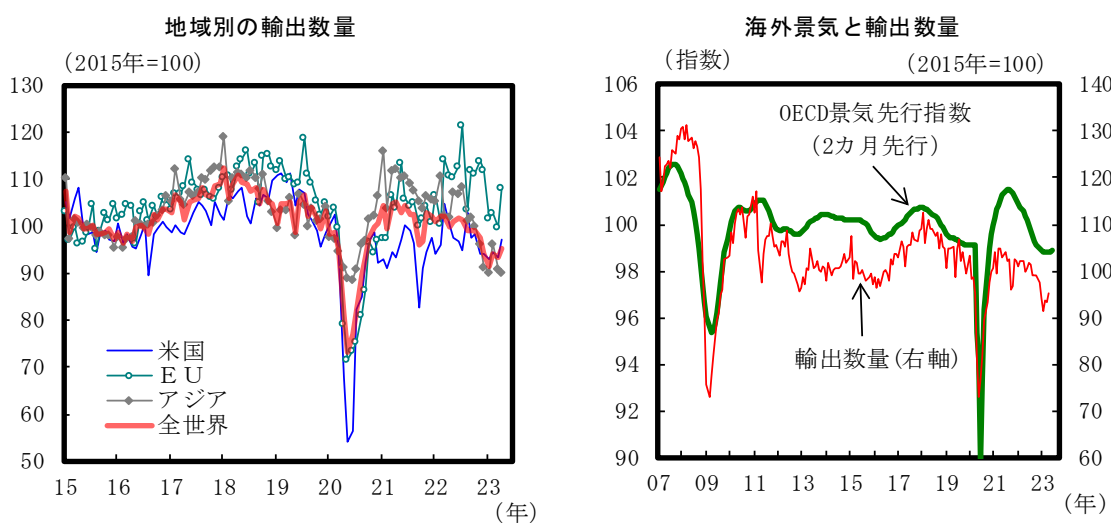
4月の輸出数量は前月比+2.1%と2カ月ぶりに増加した。引き続き自動車輸出が好調だったほか、工場稼働率が回復した米国向けでは中間財が押し上げ要因となった。地域別に見ると、米国向け（同+4.1%）やEU向け（同+8.4%）が増加に転じた。他方、アジア向け（同▲0.9%）は減少が続いている。中国向け（同+3.3%）は鈍いながらも回復しているが、その他の地域向けが低調だったとみられる。

米国向けは2カ月ぶりに増加した。自動車輸出の伸びは一服したものの、中間財輸出がけん引役となった。とりわけ大きな伸びが見られたのは自動車の部分品、自動車エンジンなどを含む原動機、電算機類の部分品であった。米国では寒波による生産活動の停滞で部品在庫が積み上がっていたが、4月は自動車やコンピュータ工場の稼働率（FRB統計）が急回復しており、部品需要が持ち直したとみられる。

EU向けは2カ月ぶりに増加した。自動車や同部分品が3カ月連続で大幅に持ち直したほか、原動機も全体を押し上げた。主力の半導体等製造装置も単月では増加したが、年初から均して見れば横ばいで推移している。他方、鉄鋼や電算機類の部分品などは減少した。ただし、鉄鋼輸出は水準で見れば依然として好調にある。

アジア向けは2カ月連続で減少した。中国向けの半導体等製造装置が急減した。日本の輸出規制が7月に控えていることもあって、同装置の中国向け輸出は伸び悩んでいる。他方、集積回路（IC）や自動車が全体を下支えした。いずれも中国向けが急増しており、前者は一部の半導体で市況が底打ちしつつあることが背景にあるとみられる。後者については、年初に中国の消費者が自動車購入を先送りしていた反動が表れた可能性が高い。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数（CLI）はG20ベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

【見通し】挽回生産の夏と外需回復の冬に期待

先行きの輸出数量は横ばいから緩やかな増加基調をたどるとみている。中国で自動車需要に回復の兆しが見られるほか、米国では景気が減速する中でも個人消費が底堅い。さらに夏以降は、トヨタ自動車は今夏に計画している高水準の挽回生産などによって輸出が上振れするとみられる。また、冬以降は米欧での景気回復が日本からの輸出を呼び込み、輸出数量は明確な増加基調に転じるとみている。なお本稿執筆時点の当社の見通しでは、米国、欧州ともに実質 GDP 成長率は7-9月期に底を打ち、その後は成長が加速すると見込んでいる。

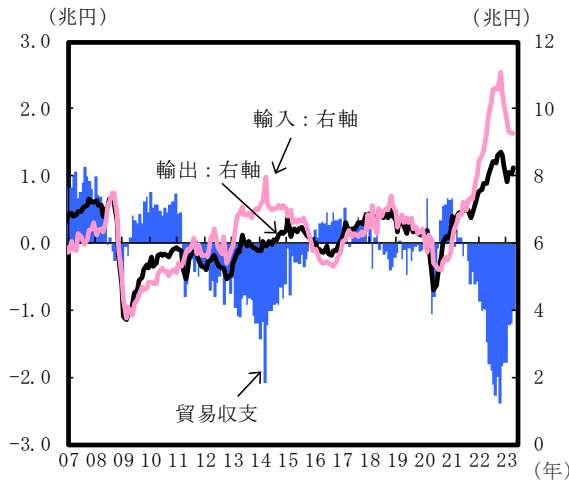
輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは底堅く推移するとみている。米国の1-3月期の実質 GDP 成長率は前期比年率+1.1%と前期(同+2.6%)から減速したが、日本の財輸出を左右する個人消費は同+3.7%と加速した。超過需要が蓄積している自動車を中心に、日本からの消費財輸出は堅調に推移するだろう。他方、5月のFOMCでは0.25%ptの追加利上げが実施され、FF金利の上限は多くの市場参加者がターミナルレートとみる5.25%に達した。名目金利の上昇とインフレ率の下落で実質金利が上昇する中、設備投資が減速することで日本からの資本財輸出は下振れするだろう。

欧州向けは均して見れば横ばいで推移するとみている。欧州経済の先行きは明るいとは言えないが、このところは自動車の挽回輸出の兆しが見られるほか、欧州向けの主力である一般機械の輸出数量は底打ちしたとみられる。また、欧州はロシアへの制裁措置として鉄鋼を中心に禁輸措置をとっており、日本などから代替調達を行っている。ウクライナ危機の長期化に伴い、今後も日本からの輸出を下支えする材料となろう。

中国向けは非常に緩やかな回復にとどまるとみている。中国では消費の持ち直しを主因に景気回復が進んでいるが、その中心はサービス消費であり、日本からの輸出を喚起する力は弱い。一部の耐久財消費は回復に至っておらず、不動産不況を背景に日本からの鉄鋼などの資材輸出も低調だ。こうした中、中国向けの回復ペースを左右するのは輸出額が大きい自動車と半導体等製造装置の輸出動向であろう。自動車については、4月の中国の自動車販売台数が前年比+82.7%(中国汽车工业协会)と3月(同+9.7%)から急加速しており、需要動向は悪くない。他方、最大の対中輸出品目である半導体等製造装置については、7月から日本の輸出規制が実施されることもあって下振れリスクが高く、大きな懸念材料といえよう。

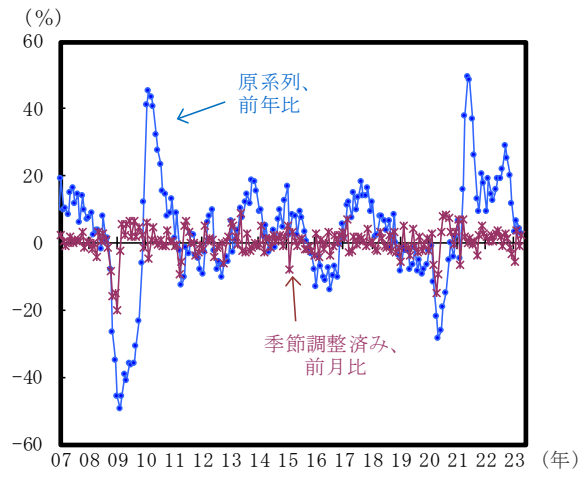
概況

輸出入と貿易収支 (名目、季節調整値)

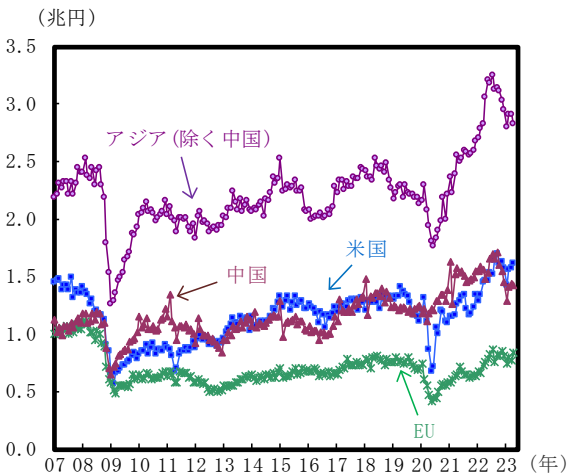


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率 (名目)

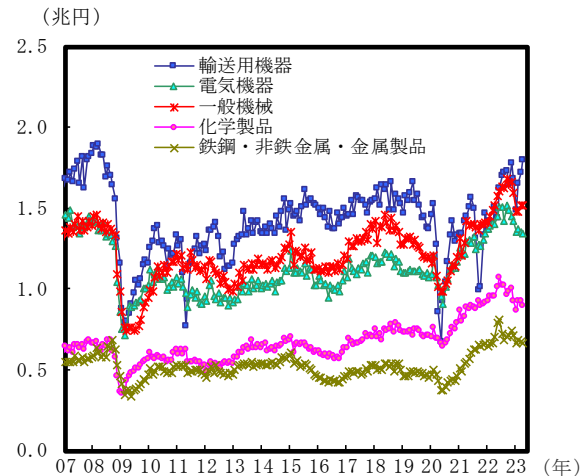


主要地域・国別の輸出額 (名目、季節調整値)

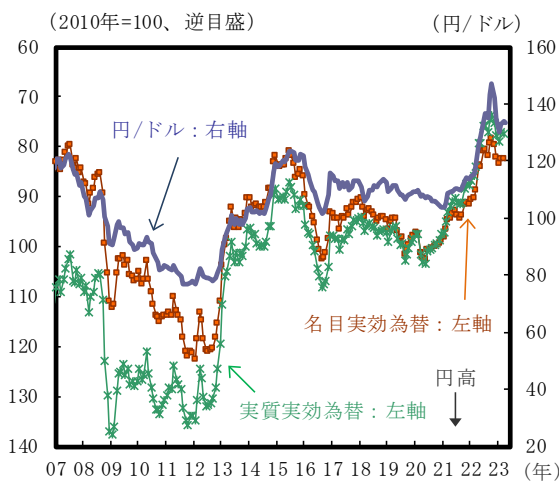


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額 (名目、季節調整値)

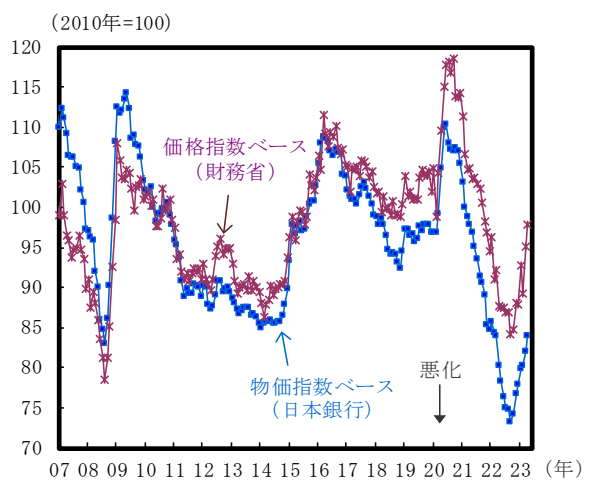


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数 (輸出物価指数/輸入物価指数)。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2022/11	2022/12	2023/01	2023/02	2023/03	2023/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	20.0	11.5	3.5	6.5	4.3	2.6	100.0	2.6
食料品	16.1	7.3	▲5.5	18.5	13.1	7.1	1.3	0.1
原料品	13.6	▲0.8	11.4	1.7	▲0.8	▲11.0	1.6	▲0.2
鉱物性燃料	19.9	67.6	17.7	16.9	13.1	▲25.7	1.3	▲0.4
化学製品	10.7	1.2	▲6.6	▲2.1	▲3.2	▲6.3	11.7	▲0.8
原料別製品	13.5	8.3	4.6	3.0	1.1	▲4.3	11.4	▲0.5
鉄鋼	11.0	3.7	5.5	3.0	▲0.7	▲3.0	4.4	▲0.1
非鉄金属	17.6	15.9	0.4	4.5	10.9	▲9.0	2.3	▲0.2
金属製品	11.7	3.2	3.1	▲4.0	▲7.7	▲7.0	1.4	▲0.1
一般機械	18.9	13.2	4.5	1.4	1.7	▲0.1	18.6	▲0.0
電気機器	11.4	6.2	▲1.5	▲1.7	▲4.5	▲4.3	16.1	▲0.7
半導体等電子部品	11.4	0.4	0.4	0.5	3.2	▲6.5	4.8	▲0.3
I C	12.0	2.0	5.3	5.1	10.3	▲2.5	3.3	▲0.1
映像機器	93.6	93.4	▲23.4	▲14.8	▲17.8			
映像記録・再生機器	20.3	23.2	▲8.9	2.0	4.4	12.6	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	▲14.2	2.6	▲0.5	4.3	▲15.9	▲4.8	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	15.9	7.4	▲2.1	▲2.9	▲8.4	▲7.2	2.1	▲0.2
輸送用機器	33.8	14.5	9.2	16.1	23.0	19.8	22.2	3.8
自動車	38.3	17.9	14.9	23.5	38.3	29.2	16.2	3.8
自動車の部分品	5.1	3.3	▲13.7	▲11.0	▲13.6	▲7.4	3.8	▲0.3
その他	27.1	20.6	6.8	20.0	2.5	10.3	15.8	1.5
科学光学機器	7.3	0.6	▲2.2	6.8	7.4	12.7	2.7	0.3

米国向け輸出金額 内訳								
	2022/11	2022/12	2023/01	2023/02	2023/03	2023/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	32.6	16.9	10.4	14.9	9.4	10.5	100.0	10.5
食料品	▲7.6	▲9.0	2.4	6.9	▲16.4	▲7.3	0.9	▲0.1
原料品	14.7	▲13.6	▲29.5	9.4	▲26.6	▲41.7	0.4	▲0.3
鉱物性燃料	▲86.9	▲58.5	▲26.0	▲5.6	112.3	▲50.2	0.3	▲0.4
化学製品	56.3	13.4	▲2.2	15.2	4.5	4.1	8.1	0.4
原料別製品	30.1	26.7	37.8	24.1	6.5	0.8	7.0	0.1
鉄鋼	80.0	34.5	57.3	51.6	23.2	8.9	1.5	0.1
非鉄金属	37.1	73.1	60.0	37.5	43.7	17.5	1.0	0.2
金属製品	16.4	5.1	26.2	1.2	▲22.0	▲7.0	1.4	▲0.1
一般機械	39.6	23.9	14.0	11.8	0.9	8.3	24.8	2.1
電気機器	14.2	12.4	16.1	6.1	▲5.6	10.9	13.6	1.5
半導体等電子部品	6.3	7.9	5.9	▲11.5	2.0	3.9	1.3	0.1
I C	9.9	4.3	8.7	▲19.0	4.9	33.5	0.7	0.2
映像機器	21.3	16.1	▲14.7	▲2.4	▲8.7			
映像記録・再生機器	11.9	7.2	▲20.3	▲19.0	▲17.8	▲5.3	0.4	▲0.0
音響・映像機器の部分品	▲52.8	▲12.3	13.1	24.6	▲4.3	46.2	0.1	0.1
電気回路等の機器	13.2	12.8	12.2	17.9	4.0	6.6	1.3	0.1
輸送用機器	34.6	15.5	1.5	14.1	37.2	17.7	32.6	5.4
自動車	41.1	16.2	▲1.7	13.7	59.9	23.1	25.8	5.4
自動車の部分品	2.6	2.2	5.7	4.7	▲24.5	▲0.3	5.2	▲0.0
その他	29.0	12.0	21.2	33.4	▲5.3	16.2	12.2	1.9
科学光学機器	39.3	24.5	19.6	31.0	20.5	6.7	2.6	0.2

EU向け輸出金額 内訳								
	2022/11	2022/12	2023/01	2023/02	2023/03	2023/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	32.0	27.0	9.5	18.6	5.1	11.7	100.0	11.7
食料品	▲14.4	▲5.0	▲11.6	54.2	▲13.6	15.1	0.6	0.1
原料品	▲1.0	33.1	7.2	4.8	▲19.3	1.4	0.8	0.0
鉱物性燃料	▲38.7	728.0	▲63.1	▲16.2	▲85.3	▲89.8	0.1	▲0.5
化学製品	7.3	16.6	3.3	11.0	▲10.2	▲12.6	10.5	▲1.7
原料別製品	61.5	56.4	22.9	17.9	10.2	3.2	8.0	0.3
鉄鋼	208.9	134.0	29.7	23.3	39.3	▲19.2	2.3	▲0.6
非鉄金属	45.3	79.4	81.1	77.3	30.0	55.9	1.2	0.5
金属製品	15.6	20.5	14.6	5.8	▲2.1	0.1	1.2	0.0
一般機械	30.5	33.1	17.9	11.1	▲4.2	▲3.5	22.1	▲0.9
電気機器	21.1	24.5	1.8	6.4	▲1.5	9.5	16.1	1.6
半導体等電子部品	21.2	14.0	▲0.3	4.8	8.5	13.8	2.2	0.3
I C	11.0	13.1	▲2.3	▲9.4	▲3.8	6.4	0.8	0.1
映像機器	64.0	67.5	8.0	9.8	11.4			
映像記録・再生機器	42.0	49.8	▲1.1	10.7	12.0	4.4	0.5	0.0
音響・映像機器の部分品	▲48.9	44.2	▲40.1	▲28.6	▲32.0	▲24.0	0.1	▲0.0
電気回路等の機器	35.9	32.0	11.8	12.3	7.0	14.1	1.7	0.2
輸送用機器	66.0	21.8	26.6	59.2	27.0	58.5	27.0	11.1
自動車	69.9	16.1	51.2	122.0	79.3	94.8	18.2	9.9
自動車の部分品	8.5	0.9	▲37.0	▲22.5	▲24.4	▲10.6	4.5	▲0.6
その他	10.6	11.3	▲11.1	5.5	13.8	12.2	14.7	1.8
科学光学機器	26.5	29.3	11.9	12.2	8.0	20.5	4.7	0.9

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2022/11	2022/12	2023/01	2023/02	2023/03	2023/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	11.6	4.1	▲4.0	▲1.3	▲1.1	▲6.3	100.0	▲6.3
食料品	22.7	11.6	▲8.7	20.4	24.5	9.9	1.7	0.1
原料品	14.0	▲2.0	15.9	▲0.0	2.3	▲9.3	2.6	▲0.3
鉱物性燃料	▲9.8	53.8	35.1	▲6.4	▲7.0	▲37.9	1.3	▲0.7
化学製品	5.7	▲1.6	▲10.8	▲7.2	▲4.5	▲6.7	15.8	▲1.1
原料別製品	7.0	1.2	▲4.3	▲3.4	▲2.7	▲11.6	14.0	▲1.7
鉄鋼	1.0	▲4.0	0.4	▲6.3	▲8.8	▲9.3	5.6	▲0.5
非鉄金属	10.5	7.9	▲11.3	1.0	11.9	▲17.9	3.5	▲0.7
金属製品	7.6	▲3.6	▲11.5	▲10.7	▲10.4	▲15.2	1.4	▲0.2
一般機械	9.1	3.9	▲3.2	▲4.3	3.2	▲4.0	17.7	▲0.7
電気機器	9.0	1.2	▲6.8	▲5.4	▲6.1	▲11.3	20.2	▲2.4
半導体等電子部品	10.9	▲0.6	▲0.2	1.0	2.8	▲8.3	8.2	▲0.7
I C	12.1	1.5	5.4	6.3	10.8	▲3.9	5.9	▲0.2
映像機器	197.3	186.3	▲34.6	▲27.7	▲29.5			
映像記録・再生機器	13.6	18.7	▲12.7	15.7	15.2	32.9	0.3	0.1
音響・映像機器の部分品	0.6	▲5.8	▲10.3	▲1.2	▲18.1	▲16.9	0.3	▲0.0
電気回路等の機器	13.8	3.4	▲7.1	▲7.4	▲11.2	▲12.9	3.0	▲0.4
輸送用機器	22.0	▲11.9	▲10.8	▲1.0	▲5.0	▲8.0	7.9	▲0.6
自動車	24.7	▲22.2	▲7.0	2.0	▲7.4	▲0.2	4.5	▲0.0
自動車の部分品	5.2	▲2.5	▲19.3	▲21.2	▲8.6	▲18.2	2.7	▲0.6
その他	25.0	21.3	0.9	14.8	5.5	6.1	18.9	1.0
科学光学機器	▲5.8	▲11.9	▲13.9	▲2.5	2.8	12.2	2.9	0.3

中国向け輸出金額 内訳								
	2022/11	2022/12	2023/01	2023/02	2023/03	2023/04		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	3.5	▲6.2	▲17.1	▲10.9	▲7.7	▲2.9	100.0	▲2.9
食料品	43.5	21.8	3.4	33.9	21.3	7.6	1.7	0.1
原料品	40.4	17.6	1.8	0.4	13.4	9.8	2.9	0.3
鉱物性燃料	10.4	103.7	138.2	285.0	44.3	▲25.8	0.7	▲0.3
化学製品	7.6	0.4	▲11.0	▲8.6	▲1.8	▲1.6	18.1	▲0.3
原料別製品	▲2.6	▲6.3	▲17.5	▲16.2	▲10.2	▲18.2	10.9	▲2.4
鉄鋼	▲11.7	▲11.7	▲12.3	▲28.9	▲37.8	▲27.2	2.7	▲1.0
非鉄金属	▲8.7	▲5.7	▲25.3	▲8.2	24.4	▲18.9	3.5	▲0.8
金属製品	0.9	▲14.0	▲25.0	▲16.8	▲17.8	▲13.5	1.5	▲0.2
一般機械	▲3.2	▲7.7	▲16.2	▲11.8	2.0	9.4	22.4	1.9
電気機器	2.7	▲2.4	▲16.0	▲12.1	▲11.3	▲10.8	20.9	▲2.5
半導体等電子部品	2.2	3.9	▲2.5	1.6	14.9	2.5	6.5	0.2
I C	2.2	10.9	7.9	9.5	33.3	12.5	4.4	0.5
映像機器	204.3	237.3	▲41.0	▲38.4	▲46.9			
映像記録・再生機器	▲11.0	8.5	▲33.6	20.1	15.5	70.4	0.5	0.2
音響・映像機器の部分品	▲6.3	▲19.1	▲34.1	▲23.1	▲37.9	▲39.5	0.2	▲0.1
電気回路等の機器	10.2	▲5.5	▲15.1	▲15.9	▲20.1	▲18.6	3.2	▲0.7
輸送用機器	▲0.9	▲45.7	▲56.4	▲43.5	▲48.4	▲28.9	7.2	▲2.8
自動車	11.3	▲50.2	▲52.1	▲34.2	▲62.7	▲27.3	4.4	▲1.6
自動車の部分品	▲18.8	▲38.1	▲64.5	▲58.1	▲31.2	▲34.5	2.5	▲1.3
その他	10.9	3.0	▲8.6	7.8	▲6.2	26.1	15.2	3.0
科学光学機器	▲10.6	▲16.8	▲19.0	▲3.0	▲2.3	9.3	3.4	0.3

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成